

育成者

振り返り

今育成会会長 藤本 敬太

この二年間を振り返って、記憶にも記録にも残る大変充実した子ども会活動が送れたと思います。

新チームになり、頼れる六年生が抜け残された子ども達でどこまで戦えるのか：コーチと保護者達は不安で胸がいつぱいでしたが、そんな心配を晴らすような子ども達の全力プレーの数々に驚かされました。気づけば数々の大会で優勝を勝ち取り、優勝九回準優勝二回 第三位一回と数え切れない程の栄冠を手に入れる事ができました。

子ども会活動を通じて、いつも高学年の後をついて回りどこかきこちなさがあった子どもたちが、率先してお手伝いや低学年のお手本になる姿を見ると、大人の手を借りる事無く、子どもたち自身で協力・尊重成長をしていくとても良い関係性が構築された組織だと思いました。今後子どもたちの成長の手助けが出来る場になる事が出来ればと思います。



育成会活動を振り返って

田中育成会会長 新崎 勇太

本年度会長をお願いされた当初は戸惑いもありましたが、同じ育成会役員の方や保護者の方、町内会の皆様のご協力のもと、とても有意義な二年となりました。

昨年度から徐々に開催される行事も増えていき、本年度はより多くの子どもたちに参加してもらい、たくさんのお喜ぶ声や笑顔がみられたと実感しております。

六年生の子どもたちは低学年で行事に参加してから感染症により各行事が中止になる事がとても多かったと思います。その後、他学年を引っ張っていく高学年になり不安も多々あった中、記憶を辿り自ら考え行動したりと試行錯誤していく姿はとても成長を感じました。その経験は子どもたちにとって大きな糧になる事だと思います。



す。

最後になりましたが、一年間たくさんの助言やご協力とても感謝しております。ありがとうございました。

ソフトボール活動を振り返って

御南ソフトボール監督 和田 賢一

長男の時から約十年、チームとしてはなかなか勝てない時期もありましたが、子ども達のおかげで最後の一年は特に印象深いものとなりました。酷暑での試合、極度の緊張感を乗り越え涙する選手達の姿と、それを見た自分の感情は鮮明に記憶に残っています。

会員数も減り、チーム数も減少の途を辿っていますが、上下の繋がりや地域との繋がりを伴う活動はとても有意義でした。近年は他チームとの交流も増え、親も子どもさらに豊かな得難い時を過ごせたと思っています。

やらなければ始まらないとか、諦めず続けていれば何かが掴めるとか、子ども達を通じて実感できた気がします。ご協力いただいた全ての皆様に感謝申



▲低学年球技大会

し上げます。ありがとうございました。御南ソフトボールの今後の活躍を願っています。

ポートボールの監督として

みんなポートボール監督 小林 誠

「心を一つにワンチーム！」今年一年、試合前に円陣を組んで、全員でこの声をかけました。試合に出る子も、ベンチの子も、応援している保護者も一つになるために。

試合で一つのボールに触れるために、子ども達は懸命に練習し、14分間走り続けました。スポーツなので勝敗は決まりますが、それ以上に諦めない心と自信が子ども達を強くしていくてくれました。

今の時代、子どものスポーツにはたくさんの選択肢があります。その中で育成会の球技をやってよかったのは、親子の関わりの強さ、地域の方との繋がります。学年を超えた繋がりができます。そんな中で一緒に練習し、頑張っている姿、成長していく姿を間近で見て、かけがえのない時間を過ごせました。

小学生の今にしかできないことを一緒にできたことが、保護者としての宝物になりました。子ども達にとっても小学生時代の最高の思い出になってくれるでしょう。

